

# モーターズ通信

2020年  
創刊号

季刊紙年4回発行  
次号は秋号(11月発行)



インタビュー  
Interview

創刊にあたって

## 知多半島を 元気よくくしたい想い

株式会社豊浜モーターズ  
株式会社T.M.ライフ  
代表取締役

川口潤



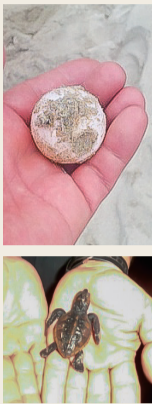
創業55年を迎え、56年目に入ったのを機に、新しい形での発信していきたくという川口社長の想いをのせて、『モーターズ通信』創刊です！「うちが地元のこの辺りではモーターズさんと呼ばれてる。それが発行するものだから、モーターズ通信でいいね」と、すぐに決まりました。車のこと、保険の事。そして、皆さんに興味を持ってもらえるような地域情報を伝えるものが出来るというなあとということで、楽しい情報や「へえ」と思える情報などをお届けするの四季報(年に4回)です。今回発行にあたり、川口社長の想いをお聞きしました。

### ◆「モーターズ通信」を発行するきっかけは?

阿久比町の保険代理店と一緒に仕事をすることになったのがきっかけ。それと、もうちょっと知多半島を見直すみたいな感じですね。私、付き合い広くて今までいろんな人に会ってきたので、「ココのお店美味しい」とか「こういうのが良いよ」とか、人に聞いて教えてもらったことなんかを載せたり紹介をしたりして伝えられたらいいなと。

### ◆どの様な記事を書きたいですか?

私が行って楽しかったところとか、人と会った思い出とか、自分が体験したことだったり。そうそう、昔、私がウミ



ガメの卵を発見して、中日新聞に載ったことがあるんですよ。ビーチランドに連絡して、保護してもらったんだけど、そういう実際にあったこととか。あとは、地域のお祭りのことかな。祭り好きなので、各地のお祭りのこととかっていうのはやりたい。春、知多半島は農業関係のお祭りが多いので、結構載せれるじゃないですか。夏は鯛祭りとか。そうやって順番に紹介していく形で。

### ◆通信を発行するにあたってどのような想いがありますか?

「今、自分のいろんな思いや繋がりを、知多半島を元気よくくしたい想い」というのが一番じゃないですかね。お互い頑張らないうとかな。青年会議所にも入ってたりしたので、縦横のつながりはあるんですよ。同じ年代を生きながら、同じころに知多半島に住んでるなら、みんながそれぞれ手を繋ぎ合せて、簡単に携帯だけで繋がってるのではなく、会って色々喋ることが大事。そこから、次に会った時も声を掛けあえたりして繋がれるので。それが仕事で役に立ったりすることが多いですね。そういうので豊浜、南知多、知多半島全部っていうのを盛り上げる。

### ◆南知多って、気候も良く美味しいものが多いって、素敵なまちですよ。

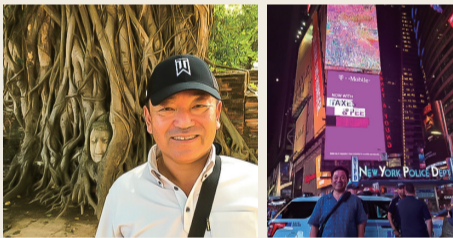
今の30代の人たちが、自分の子供達が中学校卒業するころには武豊町や半田市へ引越していつか。交通の便が悪いとか、不便だとかで利便を求めると、環境とか人情とかそういうことよりも、建売買ってそこへ行くんですよ。昔からの話を次世代に伝えていけるのは、私たちが次に残せる最後の世代だと思うから。なにか形にして残していけたらなあと思います。

### ◆豊浜、南知多、や、知多半島を元気にしたいという川口社長の想い、楽しい経験もたくさん聞きました。モーターズ通信からみなさんへ楽しい情報をお届けしていきます。

水浴なんかがあつて観光業とか農業の町。豊浜は漁村。それとちょっと工業地帯。時代と共に工業地帯になった会社が多いの。師崎はほとんど漁村っていう感じで。それを、まとめる人が誰もいない。8年前、町の職員の方に「学校区ごと、地域ごとに騎馬戦やってくれ」と言ったことあって。地域ごとのリレーをやつたら交流できるじゃないですか。綱引きでもいいんです。面白くないですか? 勝った負けましたが決まったら、また来年頑張ろうって。

### ◆それで何か動きはあったんですか?

言葉では言ったりしてるけど、結局心底誰も動いていない。



川口社長、活動範囲は国内外と広範囲のようです。

## 社員紹介

株式会社豊浜モーターズ  
相川新悟  
(平成28年3月入社)



### ◆お仕事のこと、聞かせてください。

営業です。既存のお客さんのお車のメンテナンスや車検のスケジュール調整など、お客さんのフォローと言います。法人のお客さんが多いので、結構複数台数をお持ちのお客さんに「平日の火曜日はこの車使わないんで、この車の車検はいつやる」とか言われるので、都合に合わせて調整します。車の販売が仕事ですけど、その後のお付き合いが長いので、うちは扱う車のカテゴリーが軽自動車もあればトラックもバスもある。建設会社で使われる重機やクレーンがついたものもあります。うちが比較的に広い工場ですし、設備面や人員体制というところも含めて、お客さんにご評価いただけているんじゃないですかね。でも、もともと大型車用の工場じゃないんで、現場のスタッフや整備士は大変ですよ。タイヤひとつ外すのも大きいから。他にも「原付のエンジンがかからない」とか「エンジンついてないけど、調子悪いんで見て」といっていわれて大八車だったお客さん(笑)。その方、車でお世話になってるお客さんだったんで、大工さんに持たせても言えないので、ちゃんとお預かりしました。どんとん間口広げて、工場の方は何でもかんでもなっちゃって、現場は大変ですけど、そのへんはね、現場と事務所とのバランスをとるのは難しいですけど。なんだかんだ言っても、うちの整備士はやってくれるんです。

### ◆お客さんに接するにあたって、自分なりに決めていることは?

あんまり堅苦しいことは言わなくていいかな。杓子定規で「これは〇〇円なんです」とか「うちのきまりで、それはできないですよ。」とか。特に多いのは、メンテナンスとか点検とかの時に来店していただくのが、車を引き取りに行くのかわかっていう件。一応、うちの会社のルールとしては「無料の点検は来店していただきますよ。」っていうのがあって、「有料の点検の場合は引き取りに行くんですけど」「日中の昼間に行く時間ないから」とか、「たのむので、ええよええよ、取り行くので」「鍵だけもらえればあとやとくで」「鍵だけもらえればあとやとくで」「鍵だけもらえればあとやとくで」ってお応えします。自分で良い意味でのいい加減さでやった方がね。やれることはしてさし上げないといかないと、ずっとそういう想いでやっています。高齢で独居の方は、「なんでもええよ、やとくで。任せてあるで」って言うんですけど、モーターズなら変なことばせたらどうかっていう信頼がね。これはもう、長年培ってきたもんだと思うんで。「今近くに居るからすぐ行くよ」「こっちでやとくでええよ」だとか。いつでもなんでも、来てくれる、やとくでくれる、そこしかないと思うんですよ。ネットとかのサービスと価格で比べられたら、かないっかないんで。それだったら、地元で近くにお人いるんで、出来るところはそこしかないと思う。まして今、コロナでこういう状況になっちゃったんで、新規を取るっていうよりは既存のお客さんを守るから始めないといけないのかなと思います。



### ◆新しくやってみたいこと、ありますか?

漠然とですけど、日常の生活の中で車っていう媒体を活かして地域のお客さんたちの役に立てるようなことを、モーターズで何かできないのかって考えたことはあります。例え

ば、近所のお年寄りの足になれないかな、とか、観光業や地元の業者さんと連携して、だとか。なかなかビジネス面との両立は難しいとは思いますが。あと、僕、奥手だったもんで、こんな年なんですよ。子どもがまだ小学校5年生なんです。で、地域の子もってっていうのは本当に宝だなと思えます。会社として何か、子どもたちのために出来ることはないかなとか。

### ◆次の世代に地元地域のことを伝承していくのは必要ですか?

僕、若いころは地元で居なくて、地元で住むなんて全然考えてなかった。でも、10年ちょっと前に帰ってきて。それまではお祭りなんて出てたことなかったんですけど、最初、鯛まつり保存会の先輩に「あれ、どこの子?」って言われたりしてました。多分、豊浜は地元のこと好きな人間が多いと思えますね。自分も感じますけど、やっぱり良い所だと思って。子どもたちにもそう思ってもらいたいです。

### ◆オフの日はどう過ごされていますか?

子どもがサッカーやってて、そのチームのコーチをやっています。子どもが入った時に「手伝ってもらえん?」って声を掛けてもらって。サッカークラブの経験は? やってました。僕らの時代は、豊浜、内海、師崎にそれぞれチームがありました。学校じゃなくて課外のチームなんですけど。でも今は豊浜にチームがないんですよ。師崎にもあるんですけど、小人数。内海の人たちが中心に作ってる「南知多サッカースポーツ少年団」は、近隣の美浜の子たちも来てるんですけど。その少年団に子どもがまたま入って。僕は今年から、団全体の4・5・6年生のキーパーをみるということになって。僕らの時代と全然違うんで、勉強しています。

### ◆地域の方をとても大事にされる営業マン。お会いしてすぐはクールなイメージでしたが、お話ししていくと冗談交じりにお話をされるとも楽しい相川さん。「好きな食べものは?」と聞いてみたら「カレー大好き。3食続いても平気。カレーなら、クレーラーでも、ボンカレーでも。」と即答でした。昔、町を出た頃とは違って地元を想う気持ちを持たれるようになって、それを子どもたちにも繋いでいきたいというお話、共感しました。肉離れに気を付けてサッカーのコーチ、頑張ってください!



**地域情報**

今年は新型コロナウイルスの影響で、鯛祭りには中止になってしまいました。ということで、今までに行われた鯛祭りの様子を振り返って、川口社長が今まで撮りためられた写真を見ながら、お話を聞きました。

「夜のライトアップされた鯛の張り子や台風で非難した時。まるは旅館の前を練り歩いてるところ。あ、当社の相川が先頭きって歩いてるね。これいいな。あと、海に浮かんでるもの。日中は練り歩くんで、海へは朝しか入らない。子どもたちが着物を着て太鼓とかのお囃子してる様子だね。夜、うちの会社の横を通って練り歩いたのとか、夜は電気がついたりして幻想的でしょ。担ぐときは70、80人位じゃないと動かない。全部で5体。4体は豊浜地区で1つは中洲地区。みんな作りが違う。うろこ



の絵とかも違うし、黄色が入ってたりするでしょ。その違いを豊浜の人は、形を見てすぐわかるんです。中には、金魚だっている人もいたりね(笑)。土曜日に色を赤から黒に塗って、4つのうち、2つが色が変わってる。これが見られるのは日曜の夜なので、みんな疲れて観に来ない。自分たちだけで楽しんでるだけで、屋間は海に入るので大勢の観客が来るんですけどね。それは地域の人間は誰もいない。地域の人は、別の4、5体が動いている時間帯なので、エリアが違うとお互いに見たことない。私はたまたまその境界線の所にいるので、両方手伝ったりということがあるんですけど。...社長の鯛祭りのお話は、止まることなく続きそうだったので、今回はこちらの写真をご紹介します。ところでストップかけました(汗)

●詳細情報

毎年7月中旬の土・日曜日に開催。明治18年ころ祭礼に興を添えようと「ハツカネズミ」の張りぼてをつくったのが最初といわれています。その後魚類になり、大正初期に「大鯛」に、昭和初期には胴内ではやしなから海に泳がせるようになりました。長さ10~18mの竹と木の骨格に白木綿を巻いて作った大小の鯛5匹が若者達にかつかれ、街中や海を練り回る奇祭です。豊浜商工会 豊浜ポータルサイト 「おいな豊浜」 <http://www.oina-toyohama.net>



施工前 Before



施工後 After

雨の日でも  
視界が  
スッキリ!

この時期、ドライブ中に突然の大雨。多いですが、ワイパーをしても視界が悪く、また、夕方は対向車のヘッドライトでキラついて見にくい...なんて感じることも、ありませんか?  
視界不良の原因は、フロントガラスの「油膜」。そこで、今おススメの「油膜取り」と「撥水コート」を試してみました!  
写真はコーティングの「加工前」と「加工後」。見ただけでまったく撥水が違うことがわかります。雨天時の運転中のストレスが、ホントに違いますよ。この機会に二度お試しください。

「油膜取り+撥水コート」の持続効果は約6ヶ月  
※使用状況や保管場所によって違いがあります

施工価格

通常販売価格 3,500円(税込)

スタート特別価格 2,000円(税込)  
作業工賃 コミコミ価格で



乗って初めてわかる  
ハスラーの魅力

試乗  
報告

新型スズキハスラーに  
乗ってみました!

「やあ!あたらしい遊べる軽!」いつも楽しかった「新型スズキハスラー」で、豊浜モーター専用走行コース(?)を試乗させてもらいました!  
まったくのド素人目線で、私の思った感想をお届けします。  
まずは見た目。外観は初代のハスラーと比べるとスクエア感が増して、力強いスタイルに進化した印象。愛嬌のある丸形ヘッドランプは変わらず、一目でハスラーとわかります。インテリアも遊び心満載。シートに座るとまず目に飛び込んでくるのはポップな印象のインパネ。室内を見渡すと、ドアの内張りパネルとフロントのシートにもインパネと同色のアクセントが施されていて、乗るたびに気分が上がるデザインです。  
「これって、軽?小型車じゃないの?」これが一番の感想です。とても軽自動車とは思えないレベルです。室内空間が笑っちゃうくらい広い!リアシートに座って最後部までスライドすると、足元の空間は広いし、頭上も余裕たっぷりです。  
後部座席をボタンと倒すとフルフラットシートになったり、ラゲージスペースが防汚タイプになっているなど、見た目だけでなくデザインに加え、色んなシーンへの機能性も追求されています。



次に走り。試乗してみると思いのほか馬力があって、発進から中速域までは気持ちよく加速します。車高が高いため視界が広く、運転もしやすかったです。新型ハスラーでは、車線逸脱抑制と前後退時の誤発進抑制(自動ブレーキ付き)などの予防安全機能も進化しているようなので安全・安心して運転できます。短時間の試乗走行でしたが、色んな「ワクワク!」を体験できて、とても楽しかったですよ。一度、試乗してみてください。そして、もっと新しいハスラーのことが知りたい方はホームページで!



SUZUKI  
新型ハスラー  
WEBサイト



株式会社 豊浜モーターズ

〒470-3411 愛知県知多郡南知多町大字豊丘字竹石12-1  
TEL 0569-65-1034 FAX 0569-65-2534



株式会社 TMライフ

東京海上日動火災保険株式会社 代理店  
〒470-3411 愛知県知多郡南知多町大字豊丘字竹石1-1  
TEL 0569-65-1868 FAX 0569-65-2534

モーターズ通信 創刊号

年4回発行 次回は秋号(11月発行)  
制作・編集 株式会社豊浜モーターズ/株式会社feelings